



日比野駅の安全対策の検討は

角田 龍仁議員

名古屋鉄道株式会社と協議を開始した
産業建設部長

問 令和元年に、地元7地区総代より出された要望は、どの様に進んでいるのか。

答 同年度に名古屋鉄道株式会社へ伝えた。鉄道事業者及び市が具体的な整備計画を持ち、協力して進めるべき事業であると鉄道事業者から意見があった。

問 日比野駅の乗降客数は徐々に増えてきており、令和7年4月から津

島高校の中学部が創設され、また増える事が想定されるが、安全対策を検討しないのか。

答 要望を伝えるだけでなく、具体的にどのような駅の安全対策が実施できるのか、名古屋鉄道株式会社と協議を開始した。

問 協議の進捗状況、安全対策強化の実施見込みは。
答 今年度は、これまで

3回協議を行った。ホームの拡幅や待機場所の確保、踏切の拡幅などは、膨大な事業費、時間を要する事が見込まれ、鉄道事業者及び市に具体的な整備計画が無い中、進めるのは困難であるが、駅ホームの安全対策強化として非常停止ボタンを設置することについては前向きに検討するとの意向を確認している。

問 今後、日比野駅に駅前広場の都市計画決定をしていく方向性は。
答 現在、駅前広場を都市計画決定し、事業として整備していく計画はない。

答 本市の商業施設等への期日前投票所の設置については、投票管理者や立会人の確保、職員体制、管理執行上の問題などから、現時点においてその考えはない。

問 仮に期日前投票所を商業施設などに2日間2会場で設置した場合の経費は、どの程度かかるのか。
答 仮に商業施設に2日間期日前投票所を開設した場合、概算で人件費及びシステム環境構築費を合わせると、約280万円となり、2会場設置となると、約560万円の費用が想定される。



▲名鉄日比野駅

商業施設等に投票所の設置を

問 投票所を商業施設や駅など、市民が利用しやすいところへ設置する考